



姫路科学館友の会会報 第183号〈2023年3月〉(友の会事務局発行)

2023年度 姫路科学館友の会入会受付が始まりました。

日頃より当会をご活用頂き感謝申し上げます。友の会は一年毎の更新となります。引き続きご入会頂けましたら幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。また既に手続きを完了して頂いた会員さま(有り難うございます)。そちらへも申込書が届いてしまう可能性がございますが、ご了承ください。

(友の会会長 上田倫範)

花の歳時記「ザゼンソウ」(サトイモ科)

北海道、本州(日本海側)の山野の湿地に自生する多年草です。雪解け直後の2月下旬から4月にかけて、紫褐色の花弁(仏炎苞)に包まれた高さ10~20cmの花茎を出し、長さ2cmで楕円形の肉穂花序をつけます。開花する際に、この肉穂花序で発熱が起こり、花弁内が約25℃になり周囲の氷雪を溶かします。仏像の光背に似た形の花弁の重なりが、僧侶の座禅を組む姿に見えるところから、この名がつけられました。また、花を達磨大師の座禅する姿に見立ててダルマソウ(達磨草)とも呼ばれます。兵庫県では、ハチ北高原のある鉢伏山の標高700m付近に3,000株を超えるザゼンソウが自生しています。

(友の会理事 古角孝之)



館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和5年2月

今年度は新型コロナの影響は多少あったものの休館もなく1年を終えようとしています。来館者数もコロナ前の8割近く戻って来ました。プラネタリウムにつきましては、入場者数を50%に制限していましたが、国の開催制限の見直しがされ、2月1日より収容率を100%としました。また常設展示では一部イベントの募集人数を絞ったり、目や耳を付けたりする器具や、一部体験コーナーで使用中止にしていますが、その再稼働が今後の課題です。また3月は恒例の生物多様性写真展「ひめじのいきもの」が始まります。今後も、魅力ある科学館を目指しますので、よろしくお願いいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

【目次】

- P1 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)
館長の科学館だより(友の会常任理事 (姫路科学館館長 中川吉郎)
- P2 ヤマガラ通信(姫路科学館専門員・西播愛鳥会 森田俊司)
- P3 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)
- P4 「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)
南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博)
- P5 Starry Night Story(姫路科学館 中島輝久)
- P6 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当 宮下直也)